

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市保戸野通町 7-33 2F  
 名称 一般社団法人 あきた地球環境会議  
 代表者 代表理事 蒔田 明史

<b>一般社団法人 あきた地球環境会議</b>
-------------------------

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

### SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

あきた地球環境会議は、地球温暖化対策、環境保全、環境教育、国際協力を柱に、専門分野の異なるステークホルダーと連携・協働して多様に活動をしています。また、あきた市地球温暖化防止活動推進センターとして市の指定を受け、法的な根拠をもった温暖化対策の拠点として普及啓発、調査研究、情報提供等を行っています。また、文部科学省と環境省が推進する「持続可能な開発のための教育（ESD）」の「地域 ESD 活動推進拠点」として秋田県内全域で SDGs 達成へ向けた活動支援、県民や事業者への講演、学校での授業を展開しています。

これらを通して、脱炭素社会実現へ向けたローカル SDGs（地域循環共生圏）構築による地域社会並びに経済システムの変革及び実装に寄与します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況  (※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年1月17日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	「緩和」と「適応」による具体的な気候変動対策の推進	環境配慮行動促進アプリを通じた県民の取組回数及び二酸化炭素削減量（累計） 取組回数：100 万回 削減量：500t-CO2	アプリの周知及び環境配慮行動を促進させるため多様なステークホルダーと連携した。 取組回数：236,547 回 削減量：約 87t-CO2 (2022.1~2023.1)	7 13
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	国内外の課題解決に向けた協働	すべての国々、特に開発途上国での課題解決に向けた協働プロジェクト実施件数 件数：5 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ﾀｲ KKFC(環境保全)1 件</li> <li>・ﾌﾟﾗｲﾅ(温暖化防止センター) 1 件</li> <li>・ｷﾞﾊﾞｽ(気候変動教育) 1 件</li> <li>・事業者向けセミナー等 2 件</li> </ul> 合計 5 件	17
<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	次世代を担う子どもを中心とした地球市民教育(シティズンシップ教育)、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進	受講者による SDGs の認知度及び SDGs 達成に向けた意識醸成 認知度：100% 意識醸成：80%の人が向上 ※アンケート調査による	全地域の小中高生に対し、SDGs 達成に向けた授業を実施した。 実施件数：12 件 認知度：100% 意識醸成：99.5% (2022 年度)	4 11 13

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	